

小学校
1年

子どもをまもるどうぶつたち -すごいね！ どうぶつのちえ-

茨木市立天王小学校

教科	国語	単元名	ちがいをかんがよう「子どもをまもるどうぶつたち」
----	----	-----	--------------------------

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- 動物たちの子どもの守り方や生きていくための知恵の違いについて、比べて読む力

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- 動物の特徴に関する科学的な読み物を読み、どのような知恵を使って行動するのか、まとめ・表現する力

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用

②-STEP 1 GH

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開 (全10時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (1時間)	○学習の見直しをもつ ・題名から、どんなことが書かれているのか想像する。 ・とびらのQRコードを読み取り、動画を見て、ライオンや他の動物たちの子どもの守り方を知り、興味関心をもつ。
第2次 (5時間)	○「子どもをまもるどうぶつたち」を読み、書いてあることを確かめる。 ・全文を読み、「はじめ」「中(オオアライクイ、コチドリ)」「おわり」の構成を確認する。 ・「はじめ」を読み、「問い」や「ちえ」の意味をおさえる。 ・オオアライクイ、コチドリについて、それぞれの子どもの守り方の知恵を読み取り、まとめる。 ・子どもの守り方の違いを比べる。 ・考えたことを話し合う。
第3次 (4時間)	○他の動物たちの生きていくための「ちえ」を調べる。(☆) ・動物の特徴について書かれている科学的な読み物を読む。 ・「このちえがすごい！」と思った動物を選び、「すごいね！ どうぶつのちえカード」にまとめる。 ・友だちとカードを読み合い、感想を伝え合う。

参考図書 (並行読書)

「どうぶつの赤ちゃん」シリーズ 1・2・3期
(ポプラ社)

「くらべよう！ どうぶつのからだこれだれの？」
シリーズ7巻(小峰書店)

「どうぶつのからだ これなあに？」

1 なんのくちばし？

5 なんのしっぽ？ (ポプラ社)

本時のねらい

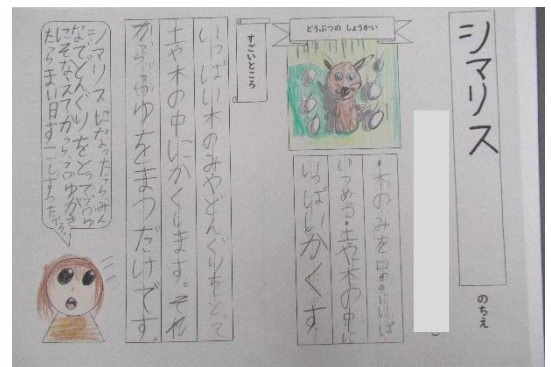
- 自分の選んだ動物の生きるためのちえについて、「すごいね！ どうぶつのちえカード」にまとめる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5分)	1. 本時の学習課題を確認する。 前時までにまとめたオオアライクイやコチドリの読み取りでまとめた「ちえカード」をふりかえり、本時の課題をつかむ。	前時までに、オオアライクイとコチドリについて、同様の形式のカードにまとめている。
展開 (35分)	2. 自分がすごい！と思った動物についてカードにまとめる。 ・どんな動物なのか、どんな知恵をつかうのか、図書資料からの情報をカードにまとめる。 ・他の動物と比べて、分かったことや気づいたこと、考えたことなどをカードに書く。	子どもを守るため、てきから身を守るため、えさをとるための知恵など、動物が自然界で生きるための知恵を見つけるようにする。
まとめ (5分)	3. 学習のふりかえりをする。	・自分の選んだ動物と既習の土物や友だちの選んだ動物とで同じところや違うところを考える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 動物の知恵を「子孫を守り命をつなぐための行動」「自分の命を守るための行動」「えさをとるためのくふう」として、動物の本から調べる活動を行った。
- 動物に関する本の中から、動物が命をつないだり、守ったりするための知恵について書かれているもの、1年生の子どもたちがその知恵を見つけやすいものを選んだ。
- 学校図書館の本と公共図書館からも貸借した本も合わせて、一人一冊以上の本を用意して、いろいろな動物の本が手に取れるようにした。
- 並行読書をしていくにあたり、並行読書のリストから読み聞かせし、本のどのあたりに知恵について書かれているのか、確認した。読み聞かせをしたことで、子どもたちの興味関心が高まり、並行読書に進むことができた。また、「子どもをまもる」「てき」「いのち」「ちえ」など本文の言葉が本に出てくる度に、「同じことが書いてある」「ちえが分かった」などのつぶやきが見られ、本文での読み取りを生かして、言語活動に取り組んでいる様子が見られた。



本からの情報と自分の考えを組み合わせ、ちえカードとして表現することができた。